

## 株式会社飛騨高山きのこの里

所在地 高山市冬頭町

栽培品目 菌床シイタケ

障がい者数 1名(知的)



毎日コツコツと働いてくれています、と社長

### ◎健常者に全く劣らない仕事への姿勢

従来より、農閑期に菌床シイタケ栽培を行っていましたが、今から7年前の平成23年に周年栽培へと転換しました。

平成29年4月、特別支援学校の企業実習がきっかけで、障がい者の受け入れを始めました。主に、シイタケの収穫作業とブロックの水の入れ替えなどの管理作業を担当しており、コツコツと懸命に働く姿は健常者に劣りません。

飛騨地域は、特に人材不足が顕著になってきており、そういった中で障がいのある方もその特性に応じて働く場が提供できれば、貴重な戦力になります。まずは、特別支援学校の企業実習を受け入れるなどして障がい者の方と接する機会を持ち、より多くの人のお考えが変わっていけばよいと社長は語ります。



収穫作業は一人で取りこぼしなくできる

## 株式会社アグリピア

所在地 海津市南濃町

形態 障がい者施設

栽培品目 水耕栽培(小松菜、サンチュなど)

利用者数 13名



### ◎「農業」も見る角度を変えれば、素晴らしい「場」になる

平成23年に水耕栽培を営む会社を設立し、翌年に就労継続支援B型事業所の認可を受けました。主力の小松菜はピーク時で収穫量が月3トンにもなり、有名レストランやコンビニ等に出荷しています。また、水菜やレタス、ワサビ菜、カラシ菜等数十種類のサラダ系の葉物野菜を詰めたミックスサラダセットも好評をいただいている商品です。

2S(整理整頓)の習慣を身につければ、一般就労など他の職場へ行ってもしっかりと役に立つはずだという社長の信念により、ハウス内は2Sを徹底し、農機具等は地面に直接おいてよいものとならないものをテープの色で区別し、視覚で分かりやすい工夫をしています。また、様々な位置に番号を振ることで利用者の作業の見える化につなげています。利用者は、和気あいあいとした雰囲気の中、農作業に従事しており、表情は一様に生き生きとしています。さらに農業という職業は、体を動かす作業のため、夜ぐっすり眠れるようになり、生活リズムの安定にもつながります。



調製作業も最初は失敗しても少しずつできるようになる

### ◎農業と福祉は相性がよい

農業は過酷という見方をされることもありますが、比較的広いスペースで自分のペースで作業ができることから、引きこもりであった利用者も精神的な落ち着きを取り戻しています。農業を通じて、B型事業所としてどれだけ利用者にとって価値あるサービスを提供できるかを追求し、周囲が制限された安全な世界を作るのではなく、農業など新たな経験をすることが、障がい者個人の将来にとってとても重要なことだと社長は話します。